

G. 知的所有権の取得状況

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

<参考文献>

- [1] Van Duyn M. A., Pivonka E., Overview of the health benefits of fruit and vegetable consumption for the dietetics professional: selected literature. *J. Am. Diet Assoc.*, 100, 1511-1521 (2000).
- [2] Bjelakovic G., Nikolova D., Gluud L. L., Simonetti R. G., Gluud C., Mortality in randomized trials of antioxidant supplements for primary and secondary prevention: systematic review and meta-analysis. *JAMA*, 297, 842-857 (2007).
- [3] Wu X., Beecher G. R., Holden J. M., Haytowitz D. B., Gebhardt S. E., Prior R. L., Lipophilic and hydrophilic antioxidant capacities of common foods in the United States. *J. Agric. Food Chem.*, 52, 4026-4037 (2004).
- [4] Prior R. L., Hoang H., Gu L., Wu X., Bacchiocca M., Howard L., Hampsch-Woodill M., Huang D., Ou B., Jacob R., Assays for hydrophilic and lipophilic antioxidant capacity (oxygen radical absorbance capacity (ORAC_{FL})) of plasma and other biological and food samples. *J. Agric. Food Chem.*, 51, 3273-3279 (2003).
- [5] Prior R. L., Wu X., Schaich K., Standardized methods for the determination of antioxidant capacity and phenolics in foods and dietary supplements. *J. Agric. Food Chem.*, 53, 4290-4302 (2005).
- [6] Chun O. K., Kim D. O., Smith N., Schroeder D., Han J. T., Lee C. Y., Daily consumption of phenolics and total antioxidant capacity from fruit and vegetables in the American diet. *J. Sci. Food Agric.*, 85, 1715-1724 (2005).

表 1. 日本において一般的に食される野菜類の抗酸化能

名称	個々の野菜の 抗酸化能	「モデル野菜」		
		100 g あたりの組成	100 g あたりの 抗酸化能	寄与率
【葉菜類】				
キャベツ	3.74	11.5	43.1	7.2%
はくさい	3.10	6.2	19.1	3.2%
レタス	2.61	4.2	11.0	1.8%
ねぎ	2.32	2.4	5.5	0.9%
ほうれんそう	8.20	2.7	22.1	3.7%
【果菜類】				
トマト	3.14	8.4	26.3	4.4%
きゅうり	1.68	6.3	10.6	1.8%
もやし	6.17	4.3	26.8	4.5%
なす	15.55	3.3	51.4	8.6%
かぼちゃ	3.88	3.2	12.5	2.1%
ピーマン	6.95	1.6	11.1	1.9%
さやまめ	13.32	1.0	13.1	2.2%
【根菜類】				
だいこん	3.93	10.1	39.5	6.7%
にんじん	5.26	6.4	33.5	5.6%
ごぼう	52.17	1.4	75.1	12.6%
れんこん	19.57	0.8	14.8	2.5%
じゃがいも	6.85	8.1	55.5	9.3%
さつまいも	6.18	2.3	14.1	2.4%
さといも	8.33	1.5	12.9	2.2%
【茎菜類】				
たまねぎ	6.71	11.5	77.5	13.0%
たけのこ	2.06	0.4	0.9	0.2%
【その他】				
ブロッコリー	11.00	1.4	15.5	2.6%
しいたけ	2.58	0.9	2.4	0.4%
計	-----	100.0	594.3	100.0%
	($\mu\text{mol TE/g}^{\text{a}}$)	(g/100 g)	($\mu\text{mol TE}/100\text{ g}$)	

^a 可食部生鮮重量あたり

表 2. 各野菜の、個々の抗酸化能、摂食量及び「モデル野菜」の抗酸化能への寄与率の序列

順位	個々の 抗酸化能	摂食量	「モデル野菜」中 抗酸化寄与率
1	ごぼう	キャベツ	たまねぎ
2	れんこん	たまねぎ	ごぼう
3	なす	だいこん	じゃがいも
4	さやまめ	じゃがいも	なす
5	ブロッコリー	トマト	キャベツ
6	さといも	はくさい	だいこん
7	ほうれんそう	にんじん	にんじん
8	ピーマン	きゅうり	もやし
9	じゃがいも	もやし	トマト
10	たまねぎ	レタス	ほうれんそう
11	さつまいも	ねぎ	はくさい
12	もやし	なす	ブロッコリー
13	にんじん	かぼちゃ	れんこん
14	だいこん	ほうれんそう	さつまいも
15	かぼちゃ	ブロッコリー	さやまめ
16	キャベツ	さつまいも	さといも
17	トマト	ピーマン	かぼちゃ
18	はくさい	さといも	ピーマン
19	レタス	さやまめ	レタス
20	しいたけ	ごぼう	きゅうり
21	ねぎ	しいたけ	ねぎ
22	たけのこ	れんこん	しいたけ
23	きゅうり	たけのこ	たけのこ

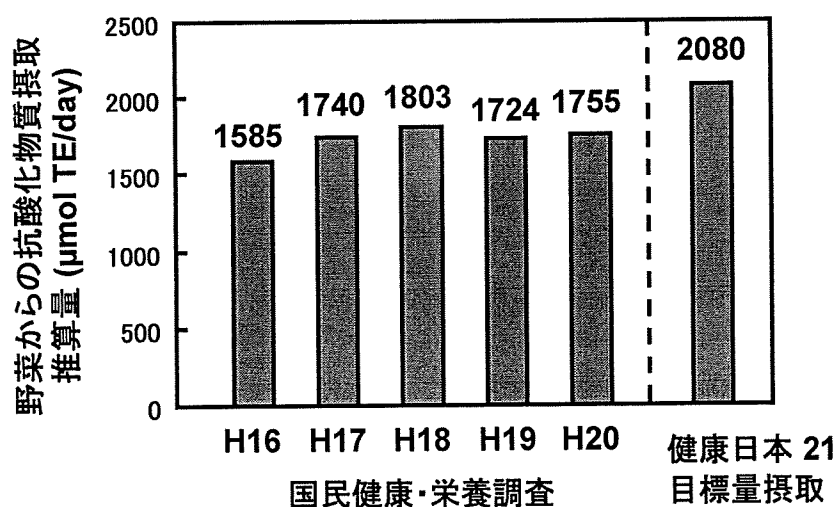


図 1. 「健康日本 21」目標量及び国民健康・栄養調査結果から推算した、野菜類からの抗酸化物質一日摂取量の推定

都道府県庁所在市別野菜からの抗酸化力摂取量の推算

分担研究者 坪田 恵 独立行政法人国立健康・栄養研究所 栄養疫学プログラム 研究員

研究要旨

現在、抗酸化物質を含有するいわゆる健康食品（以下 抗酸化サプリメント）が多数流通している。単一あるいは少数の抗酸化物質を含有するサプリメントの安全性・有効性に関する信頼できる情報は極めて少なく、それと同様の有用性が得られるかは定かではない。一部の抗酸化サプリメントは通常の食事から摂取し得る量をはるかに超えた量の抗酸化物質を含んでいると推測されるが、その安全性は食経験から確保されているとはいえないのが現状である。

通常、我々は日常的に食事から複数の抗酸化物質を摂取しているが、通常の食事に含まれる抗酸化物質をどの程度摂取しているか明らかとした報告は本邦においては見られない。

本研究では、通常の食事に含まれる抗酸化物質の健康影響を明らかとすることを最終目的とし、家計調査における「代表的な野菜 23 種（いも、きのこ類を含む）」に着目し、H-ORAC (Hydrophilic-Oxygen Radical Absorbance Capacity) 法より測定した抗酸化力 (Total Antioxidant Capacity、TAC) の結果から、都道府県庁所在市別野菜からの抗酸化力摂取量の推算、ならびに地域差を検討した。

A. はじめに

現在、抗酸化物質を含有するいわゆる健康食品（以下 抗酸化サプリメント）が多数流通している。単一あるいは少数の抗酸化物質を含有するサプリメントの安全性・有効性に関する信頼できる情報は極めて少なく、それと同様の有用性が得られるかは定かではない。一部の抗酸化サプリメントは通常の食事から摂取し得る量をはるかに超えた量の抗酸化物質を含んでいると推測されるが、その安全性は食経験から確保されているとはいえないのが現状である。

通常、我々は日常的に食事から複数の抗酸化物質を摂取している。野菜・果物中に豊富に含まれている抗酸化物質は生活習慣病を

はじめ種々の疾病の予防因子として注目されており、野菜・果物の摂取が健康に良好な影響を及ぼすことが複数の疫学研究から明らかとされている。Bjelakovic らが検討した種々の抗酸化物質と疾患との関連を報告した疫学研究論文のメタ分析によれば、ビタミン C 及びセレンウム摂取は総死亡と関連がないという報告の一方、ベータカロテン、ビタミン A、ビタミン E 摂取は、総死亡率を増加させる可能性があることを示唆している [1, 2]。

しかしながら、体内において抗酸化物質は単一でその有効性を示すわけではなく、複数の抗酸化物質がネットワークを形成し酸化ストレスを消去している。従って、各食品の総合的な抗酸化力 (Total Antioxidant Capacity、

TAC)の総和(食事全体の TAC)が重要であり、単一あるいは少数の抗酸化物質の大量摂取では、それと同等の有用性が得られないだけでなく、場合によっては安全性に問題が生じる可能性がある。

本研究は、H-ORAC (Hydrophilic-Oxygen Radical Absorbance Capacity) 法の測定結果から通常の食事、特に抗酸化物質が多く含まれる野菜摂取における抗酸化物質摂取量を推定、都道府県間の地域差を明らかにすることを目的に検討を行う。

B. 研究方法

1. 家計調査

家計調査は、国民生活における家計収支の実態を把握し、国の経済政策・社会政策の立案のための基礎資料を提供することを目的として総務省統計局が実施している。対象は、全国の世帯(除外基準:①学生の単身世帯、②料理飲食店、旅館又は寄宿舎を含む下宿屋を営む併用住宅の世帯、③ 賄い付きの同居人がいる世帯、④ 住み込みの営業上の使用人が4人以上いる世帯、⑤世帯主が長期間(3 か月以上)不在の世帯、⑥外国人世帯)であり、家計の収入・支出、貯蓄・負債について毎月調査を行っている。結果は、二人以上の調査世帯、単身調査世帯に大別され、それぞれ全国、都道府県庁所在市及び大都市、人口5万以上の市(前記市は除く)、人口5万未満の市および町村の地域に分けて報告されている [3]。

本研究では、「平成 20 年度家計調査年報」のうち、都道府県庁所在市に在住の二人以上の調査世帯における「1 世帯当たり野菜購入数量」から、「一人あたり一日の野菜購入数量」を算出、「一人あたり一日の抗酸化物質摂

取量」の推定を行った。いも、きのこ類を含む野菜購入数量に関する報告は、生鮮野菜、葉茎菜、根菜の大分類含め 31 種について報告されており、それぞれの購入数量(g/世帯・年)が記載されている。しかしながら、他の葉茎菜、他のきのこ、他の根菜、他の野菜については具体的な種類が明らかとされていないことから、本研究では、代表的な野菜 23 種(キャベツ、ほうれんそう、はくさい、ねぎ、レタス、ブロッコリー、もやし、かんしょ、ばれいしょ、さといも、だいこん、にんじん、ごぼう、たまねぎ、れんこん、たけのこ、さやまめ、かぼちゃ、きゅうり、なす、トマト、ピーマン、生しいたけ)に絞り、1日あたりの野菜購入数量の値から抗酸化物質摂取量を推定、地域差の検討を行った。

2. ORAC (Oxygen Radical Absorbance Capacity) 法

TAC の測定には、ビタミン C、ポリフェノール類等の水溶性抗酸化物質の抗酸化力を反映する H-ORAC 法を用いた。

生鮮野菜からの抗酸化物質抽出は、Wu らの方法 [4] に準じた方法で行った。凍結乾燥した生鮮野菜粉末から、高速溶媒抽出装置(ASE-200、日本ダイオネクス)を用い、まず親油性物質をヘキサソジクロロメタン=1/1 で抽出した後、親水性物質をメタノール/水/酢酸=90/9.5/0.5 (MWA) で抽出した。次に MWA 抽出溶液の H-ORAC 活性を、Prior らの方法 [5] に準じた方法で測定した。分析値を基に、各野菜の新鮮重量 1 g に含まれる抗酸化物質の活性をトロロックスのモル数に換算して表した(単位: $\mu\text{mol Trolox equivalent (TE)/g}$)。抽出操作の詳細については「一般的な野菜に含まれる抗酸化物質抽出法の検討(分担: 沖)」を、分析方法の詳細については「日本に

において一般的に食されている野菜類からの抗酸化物質一日摂取量の推定 (分担:竹林)」を参照されたい。

まず、家計調査における都道府県庁所在市別「1世帯当たり野菜購入数量」から、世帯数で除した「一人あたり野菜購入数量」を算出した。次に、廃棄率を考慮に入れた「一人あたり一日の野菜購入数量(g・d・person)」を算出し、その値に、H-ORAC 法より測定した抗酸化力(H-ORAC 値; $\mu\text{molTE/g}$)を乗じ、「一人あたり一日の抗酸化物質摂取量」を推計した。最後に都道府県庁所在市別抗酸化力データからMAP へのプロットを行った。マップの作成には地理情報分析支援システム MANDARA for Windows 2000/XP/VISTA/7 version 9.13(谷謙二)を用いた。

C. 結果と考察

今回算出した平成 20 年度家計調査における 23 種の野菜購入数量(g/day)は、家計調査における生鮮野菜購入数量全体の 84.5%を説明する。

図1にMAP へのプロット結果を、表1に都道府県庁所在市別抗酸化力 ($\mu\text{molTE/day}$)に寄与している野菜 TOP5 を示す。家計調査から算出した代表的な野菜23種の一人あたり一日あたりの野菜摂取量は平均 120.0g/day(最大値 140.5 g/day、最小値 96.1 g/day)であり、この値は平成 19 年度国民健康・栄養調査の平均値 290g/day と比べると遙かに少ない。この理由として、当該家計調査が家庭における生鮮野菜購入数量をベースとしており、お総菜や昼食といった外食が入っていないこと、二人以上の世帯を対象としていること、が考えられる。その結果、抗酸化力の値も実際の摂取量よりは少なく見積もられた。地方別にみた一日

あたりの野菜摂取量(g/day)は、北海道地方 124.2、東北地方 123.7、関東地方 133.0、中部地方 137.8、近畿地方 101.2、中国地方 116.6、四国地方 132.3、九州地方 113.1、沖縄地方 96.1 であり、沖縄地方を除き地域により大きな差は認められなかった。

次に一人あたり一日の抗酸化物質の摂取量 ($\mu\text{molTE/day}$)は、全体としては東から北にかけての地域での抗酸化数量が多い傾向が見られた。ただし、当該抗酸化物質摂取量の開きが最小 553.9 から最大 844.1 であり、極端な地方差も認められていないことから、地域による大きな違いはないと考えられた。抗酸化力に寄与している野菜 TOP5 から、全国的に抗酸化力の高いごぼう($52.17\mu\text{molTE/day}$)と、抗酸化力は高くないものの消費量の多いたまねぎ($6.71\mu\text{molTE/day}$)が野菜からの抗酸化力摂取に一番寄与しており、ばれいしょ($6.85\mu\text{molTE/day}$)、なす($15.55\mu\text{molTE/day}$)、キャベツ ($3.74\mu\text{molTE/day}$)、だいこん ($3.93\mu\text{molTE/day}$)、にんじん ($5.26\mu\text{molTE/day}$)が続いていた。

D. 結論

本研究から、地域により若干の差はあるものの、全国的に抗酸化力に寄与している野菜は、ごぼうとたまねぎであり、次いでばれいしょ、なす、キャベツ、だいこん、にんじんであった。当該抗酸化力の摂取に際し、地域により特異的な差は認められなかった。ごぼうはグラムあたりの抗酸化力が高いことから量より質で、たまねぎの抗酸化力はそれほど高くないものの、野菜としての消費量が高いため、寄与が大きいことが判明した。

本研究は生鮮野菜からの購入数量からの推算のため、実際摂取されていると考えられる

摂取量の半分以下の野菜摂取量からの推計となった。しかし、家計調査に示される23種の野菜は国民の購入する野菜の代表と考えることができることから、抗酸化力に寄与する野菜の種類および順位は、実際の野菜摂取量から推計したものとそれほど変わらないであろうと考えられた。今後は、野菜と同じく通常の食事に含まれ、抗酸化物質の多い果物からの推計を行い、日本人の通常の食事の中で寄与していると考えられる抗酸化食品を明らかにしていく予定である。

E. 研究発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

なし

F. 知的所有権の取得状況

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし

G. 参考文献

- [1] Bjelakovic G, Nikolova D, Gluud LL, Simonetti RG, Gluud C. Mortality in randomized trials of antioxidant supplements for primary and secondary prevention: systematic review and meta-analysis. *JAMA*. 2007;297:842-857.
- [2] Bjelakovic G, Nikolova D, Gluud LL, Simonetti RG, Gluud C. Antioxidant supplements for prevention of mortality in healthy participants and patients with various diseases. *Cochrane Database Syst Rev*. 2008:CD007176.
- [3] 総務省統計局. 平成20年度家計調査年報. Available at: <http://www.stat.go.jp/data/kakei/1.htm#1>. Accessed March, 2010.
- [4] Wu X, Beecher GR, Holden JM, Haytowitz DB, Gebhardt SE, Prior RL. Lipophilic and hydrophilic antioxidant capacities of common foods in the United States. *J Agric Food Chem*. 2004;52:4026-4037.
- [5] Prior RL, Hoang H, Gu L, Wu X, Bacchiocca M, Howard L, Hampsch-Woodill M, Huang D, Ou B, Jacob R. Assays for hydrophilic and lipophilic antioxidant capacity (oxygen radical absorbance capacity (ORAC(FL))) of plasma and other biological and food samples. *J Agric Food Chem*. 2003;51:3273-3279.

野菜類計

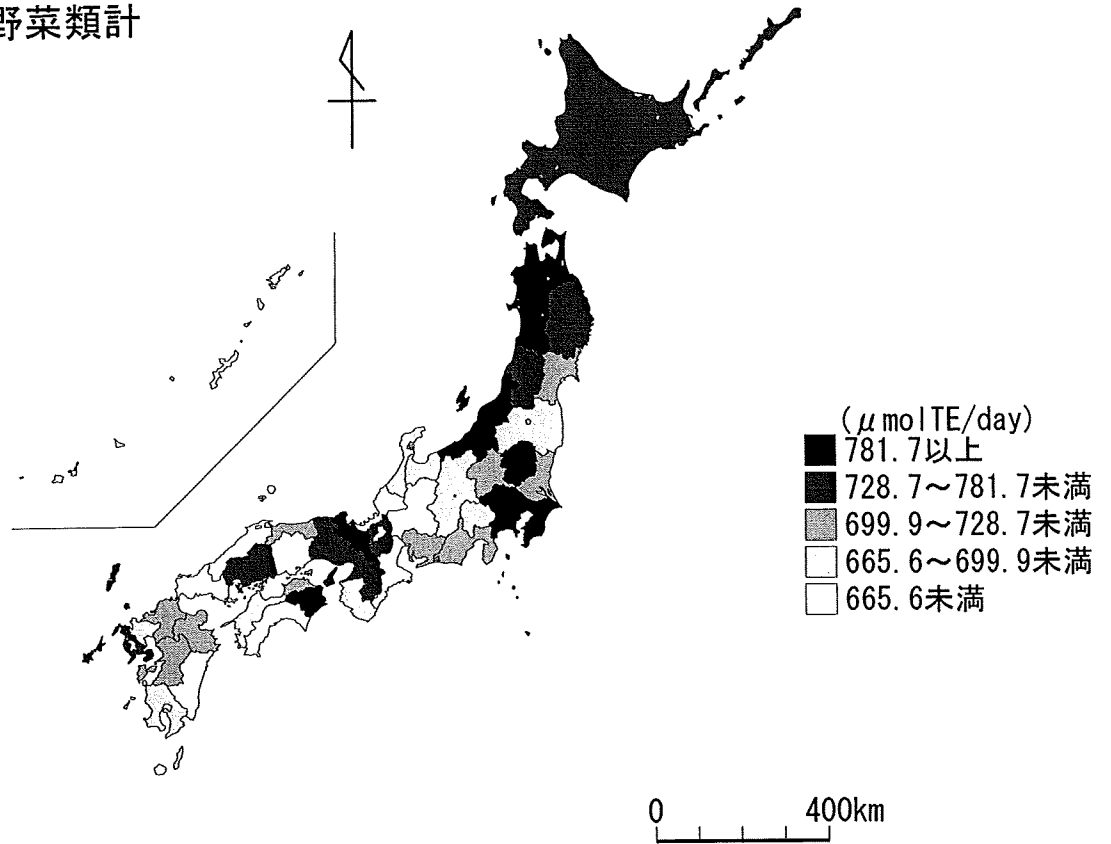
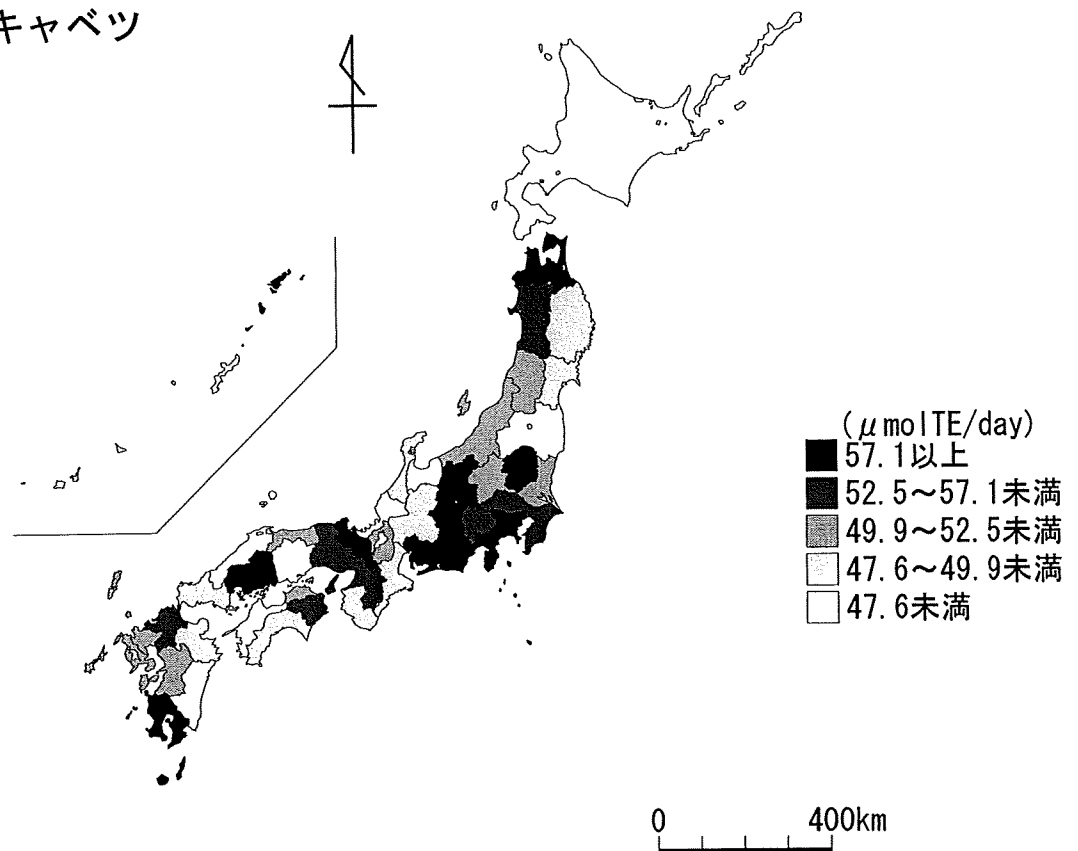
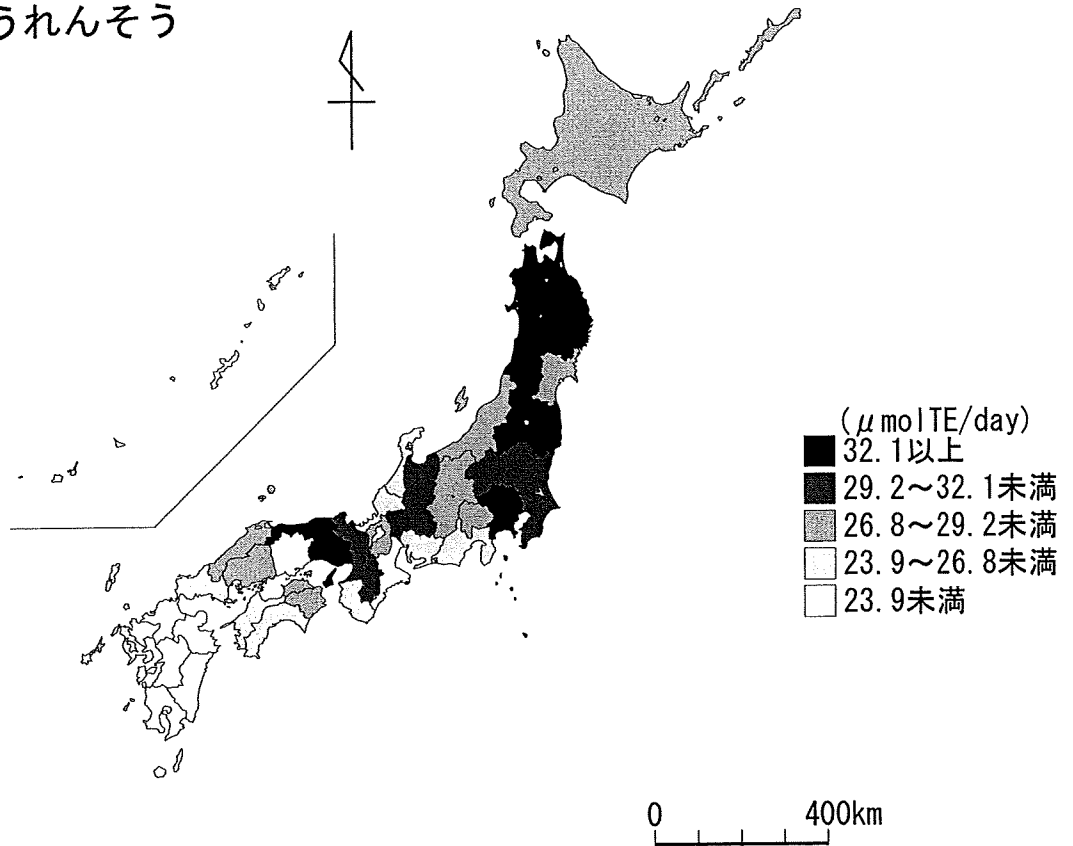


図1 都道府県庁所在市別抗酸化力($\mu\text{molTE/day}$)

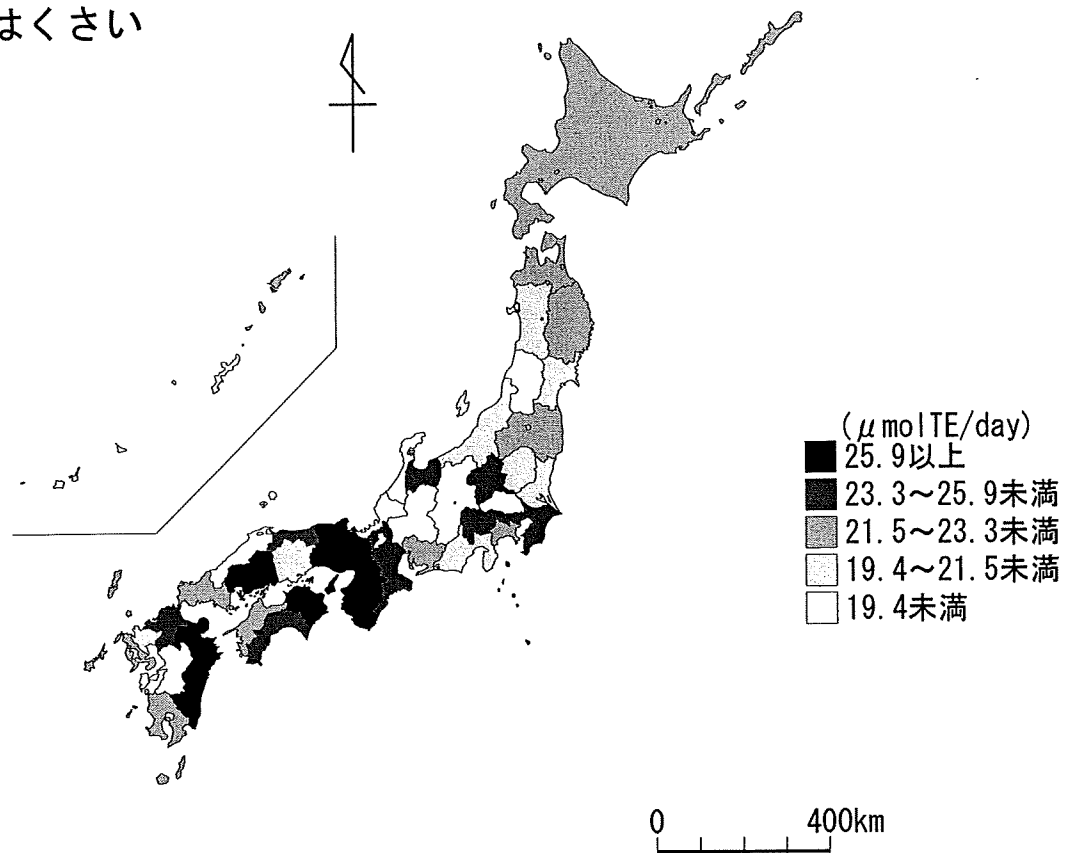
キャベツ



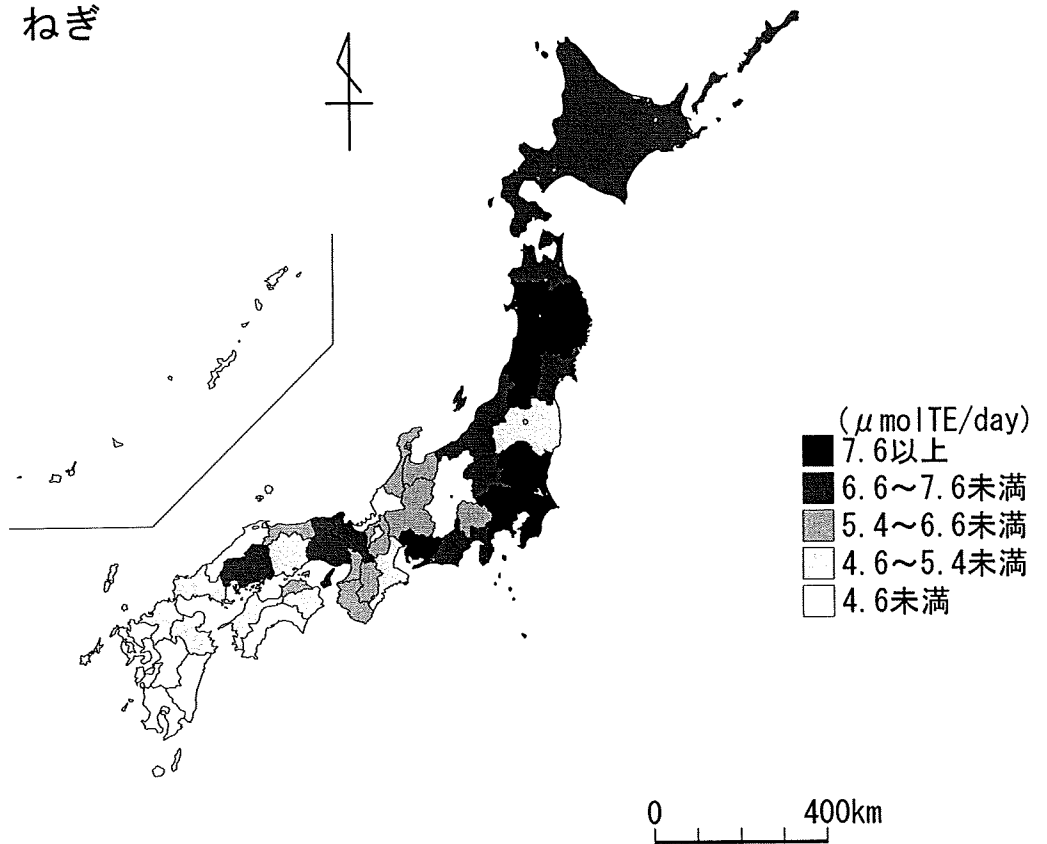
ほうれんそう



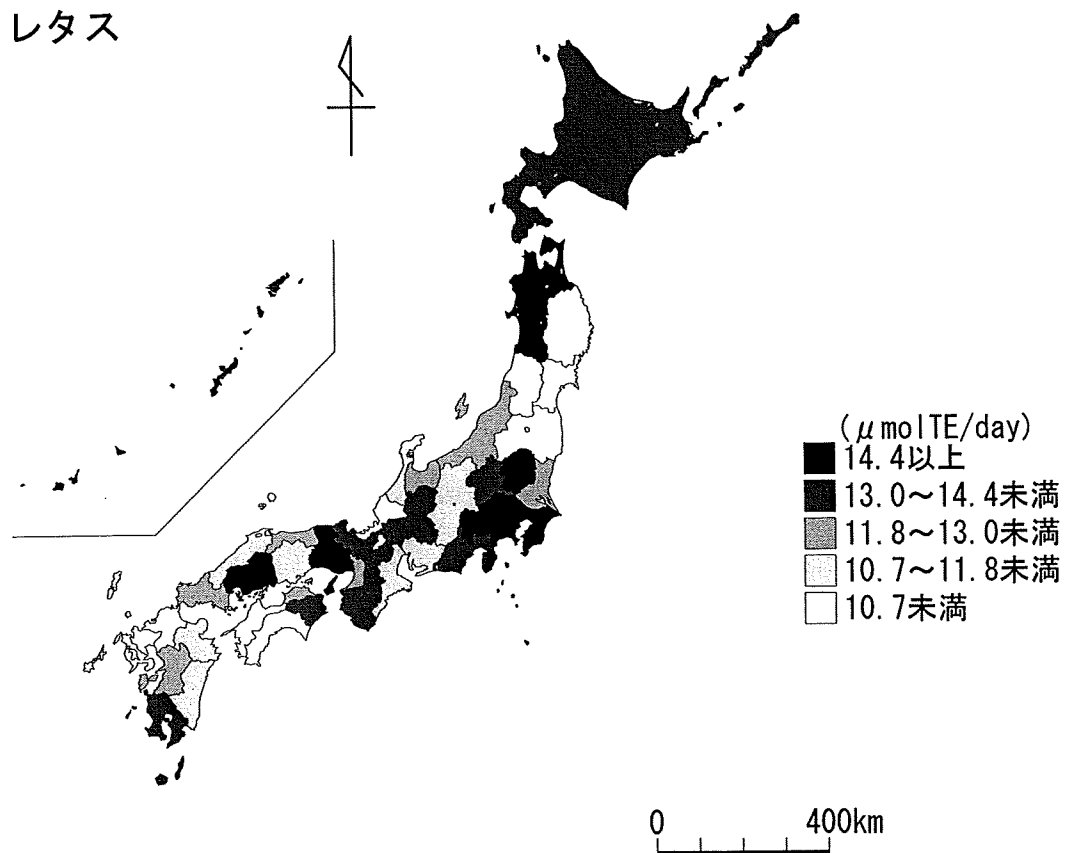
はくさい



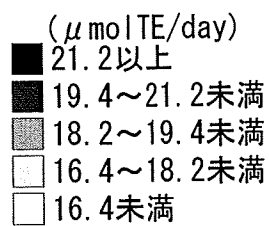
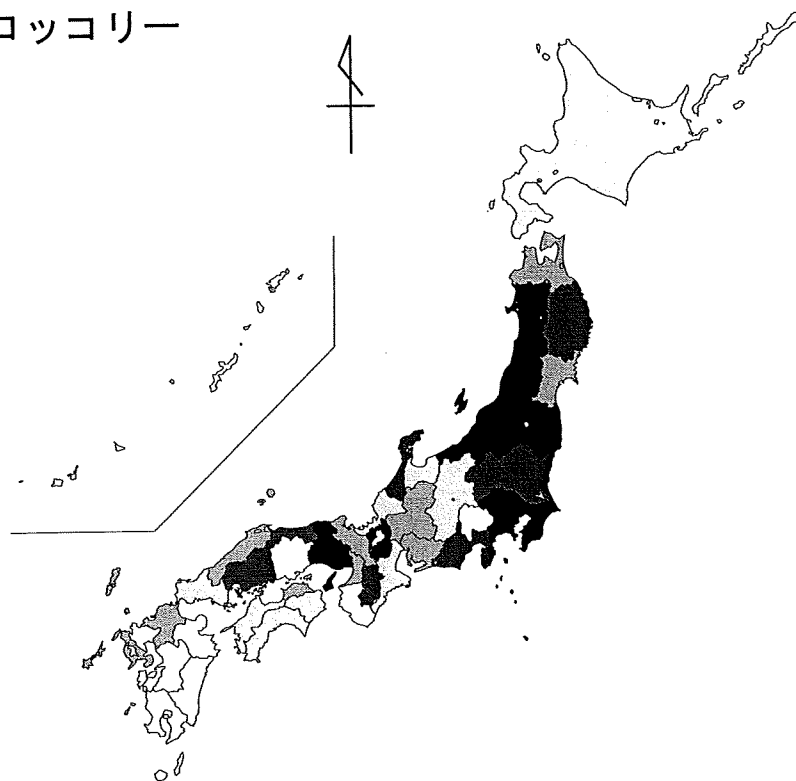
ねぎ



レタス

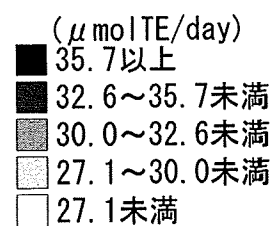
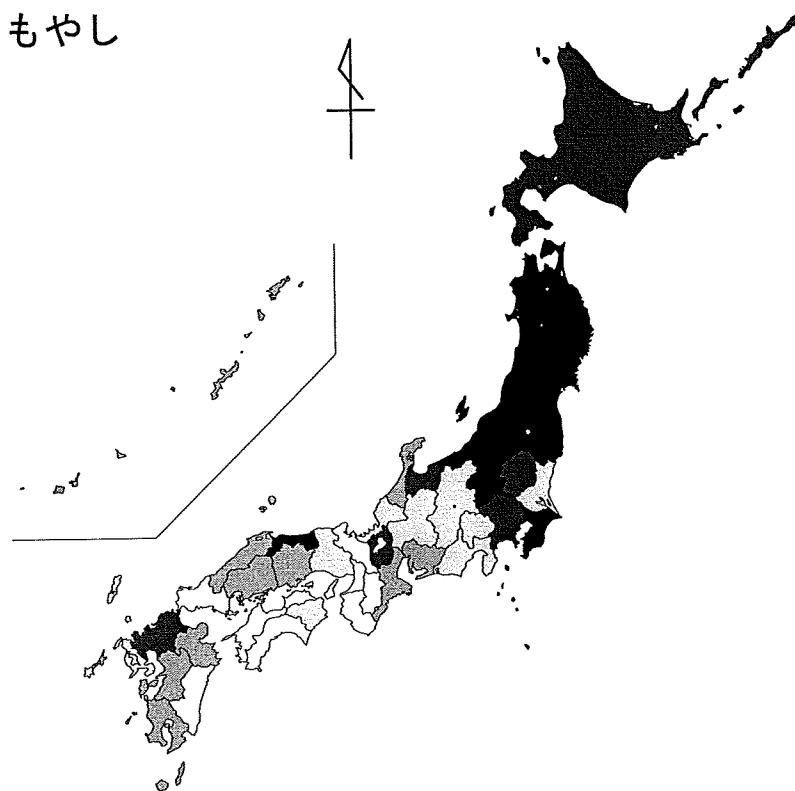


ブロッコリー



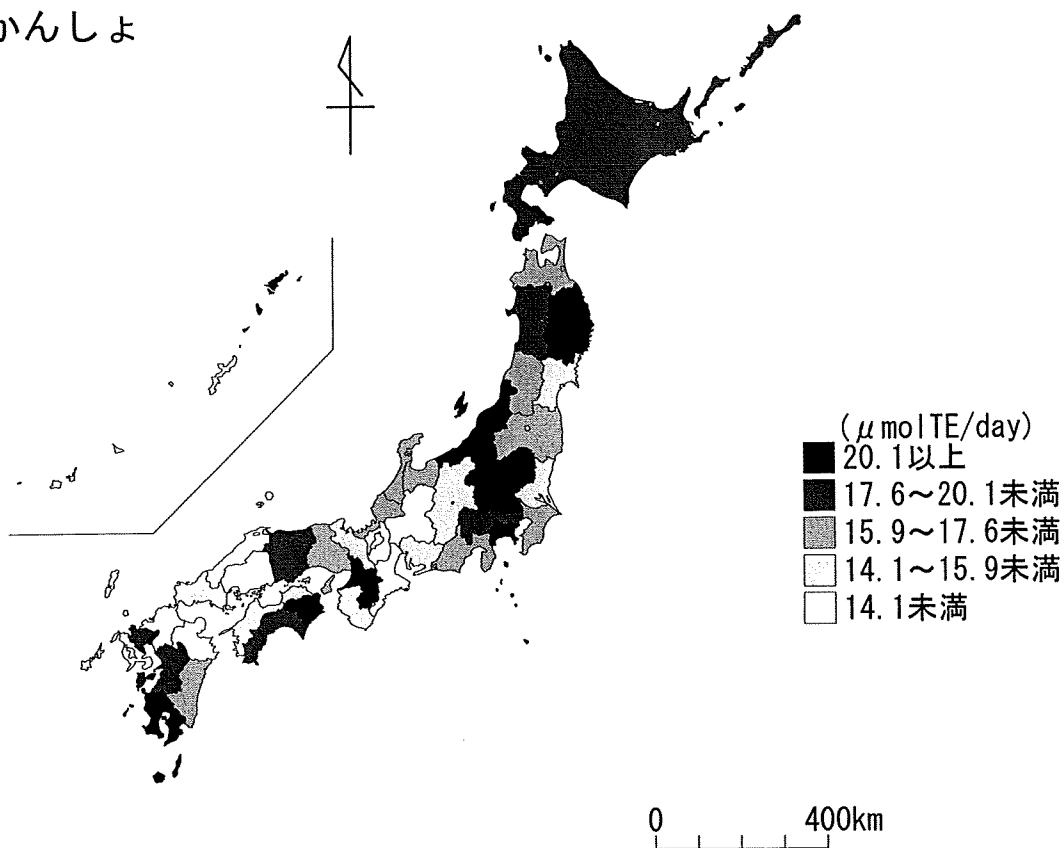
0 400km

もやし

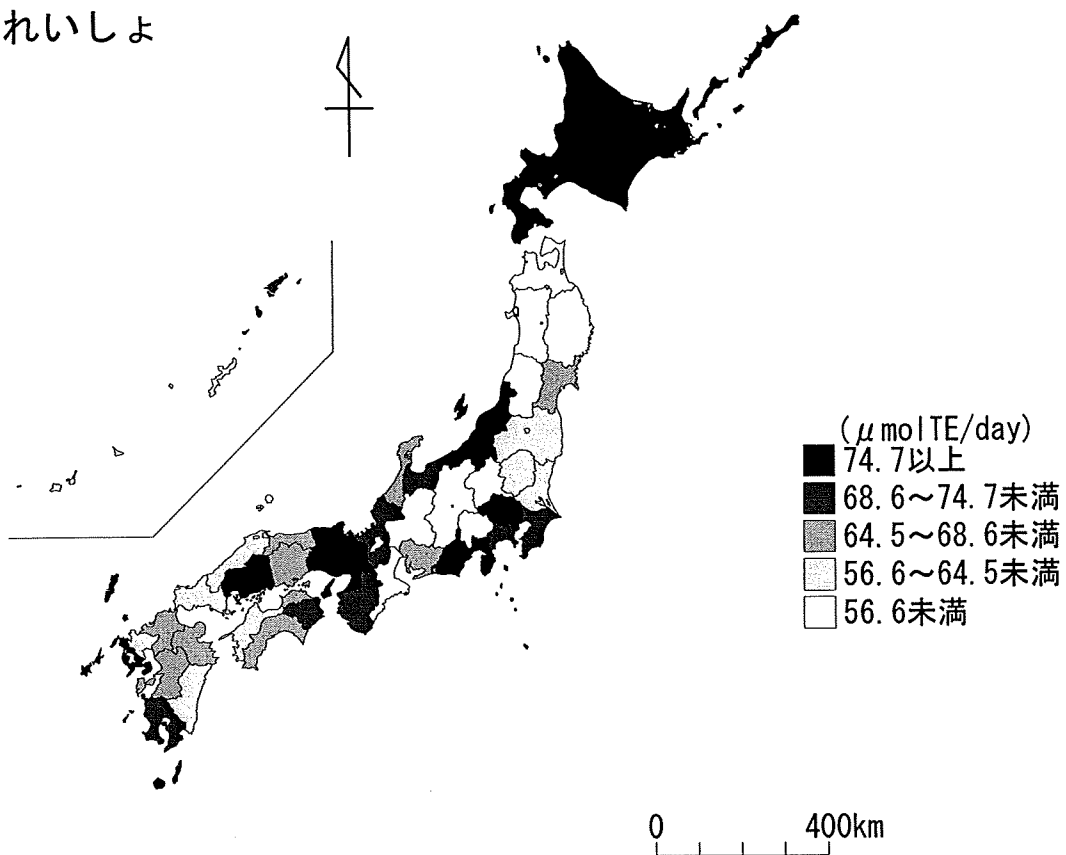


0 400km

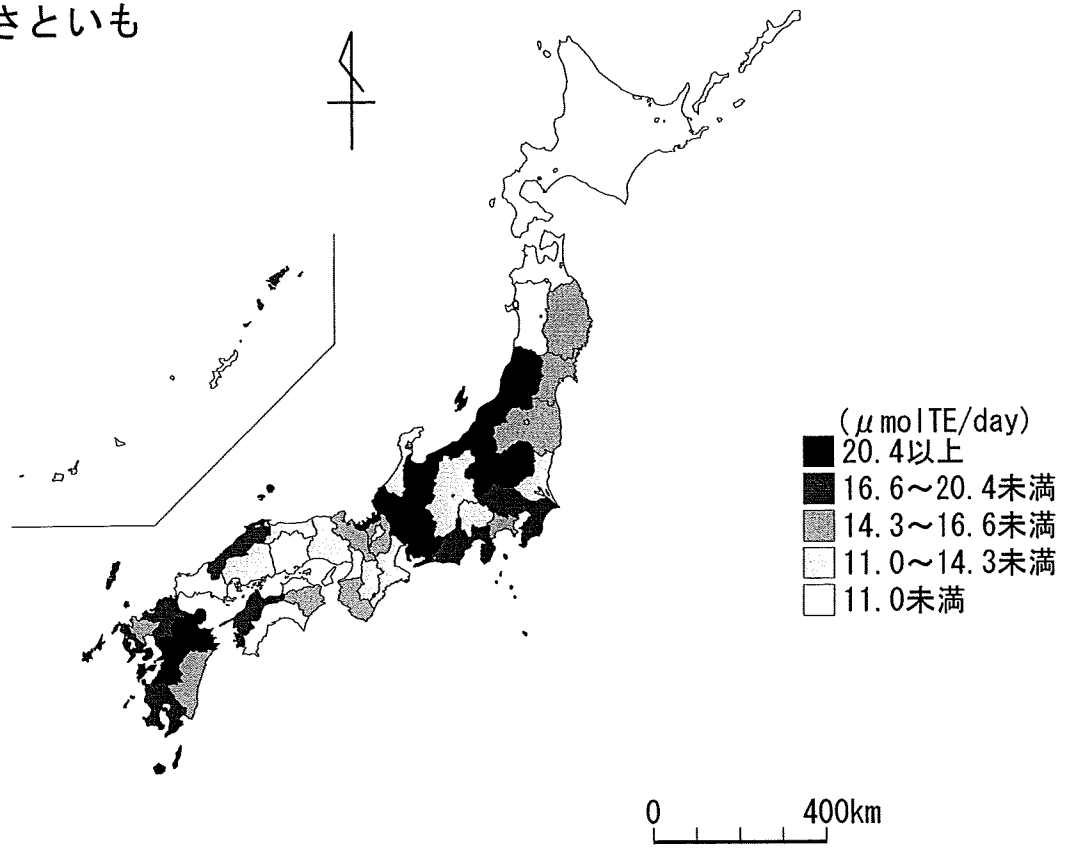
かんしよ



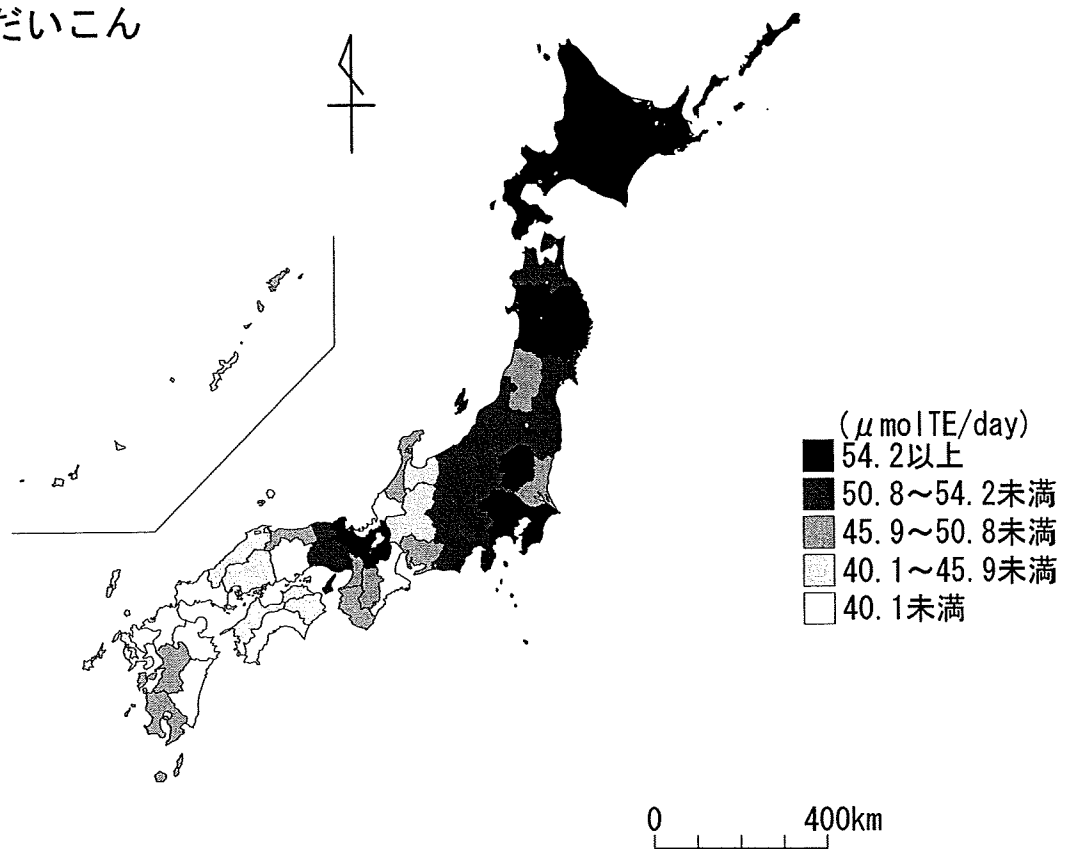
ばれいしよ



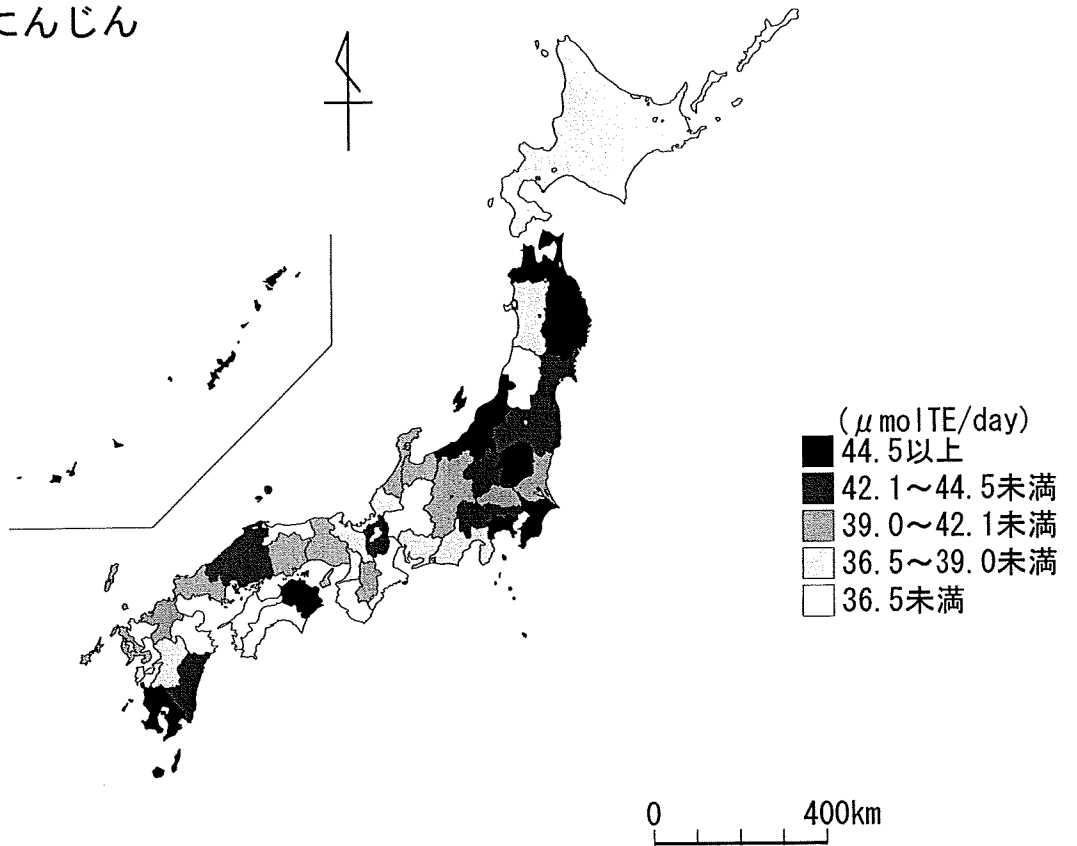
さといも



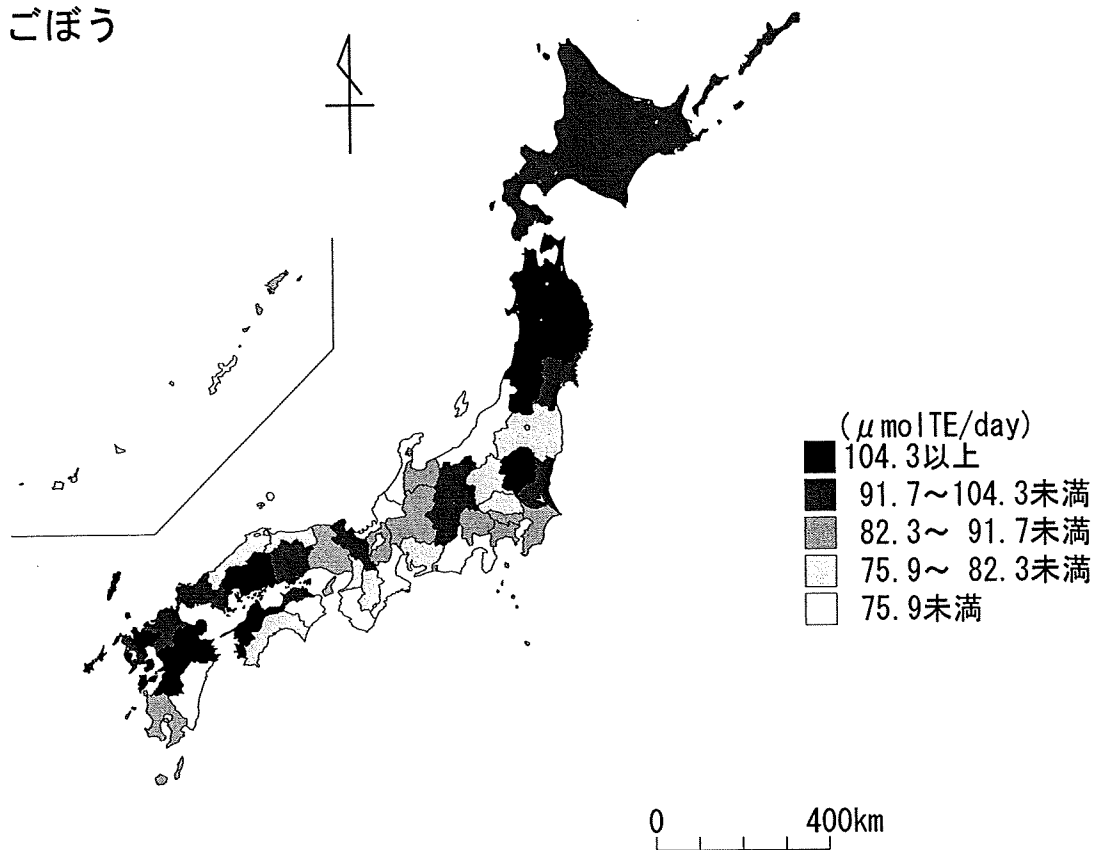
だいこん



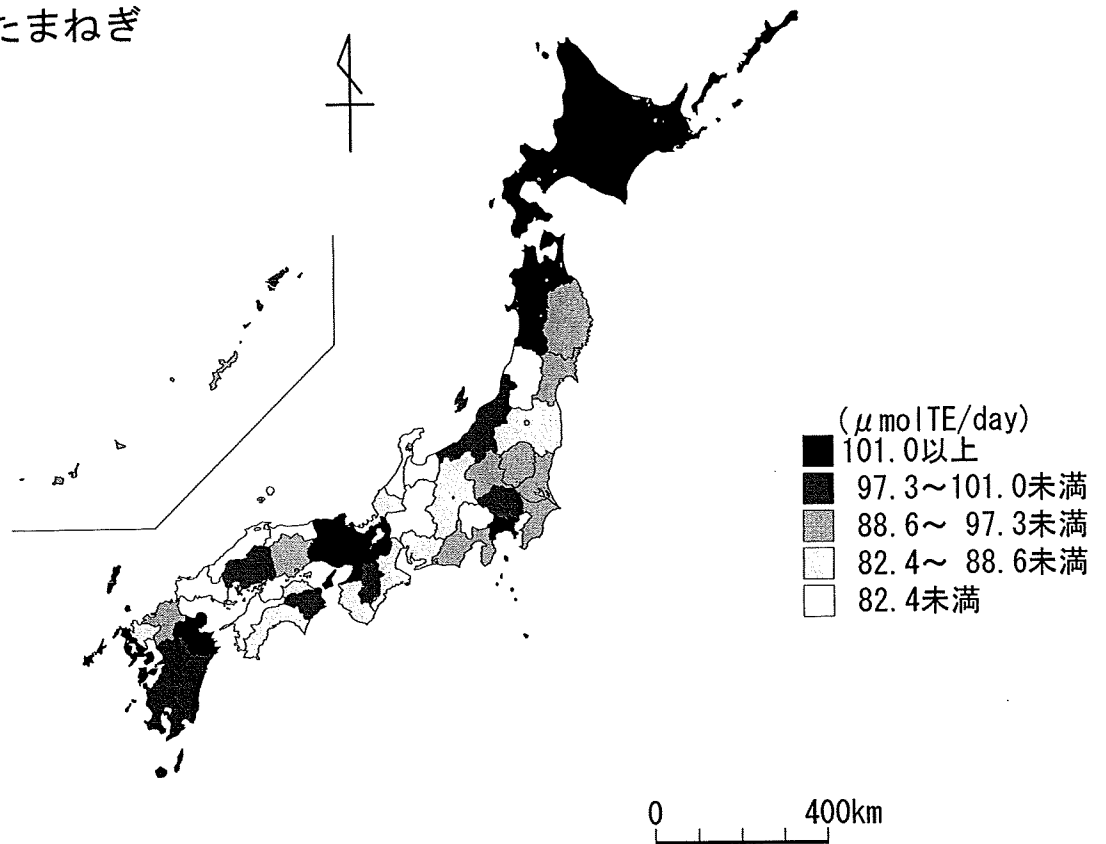
にんじん



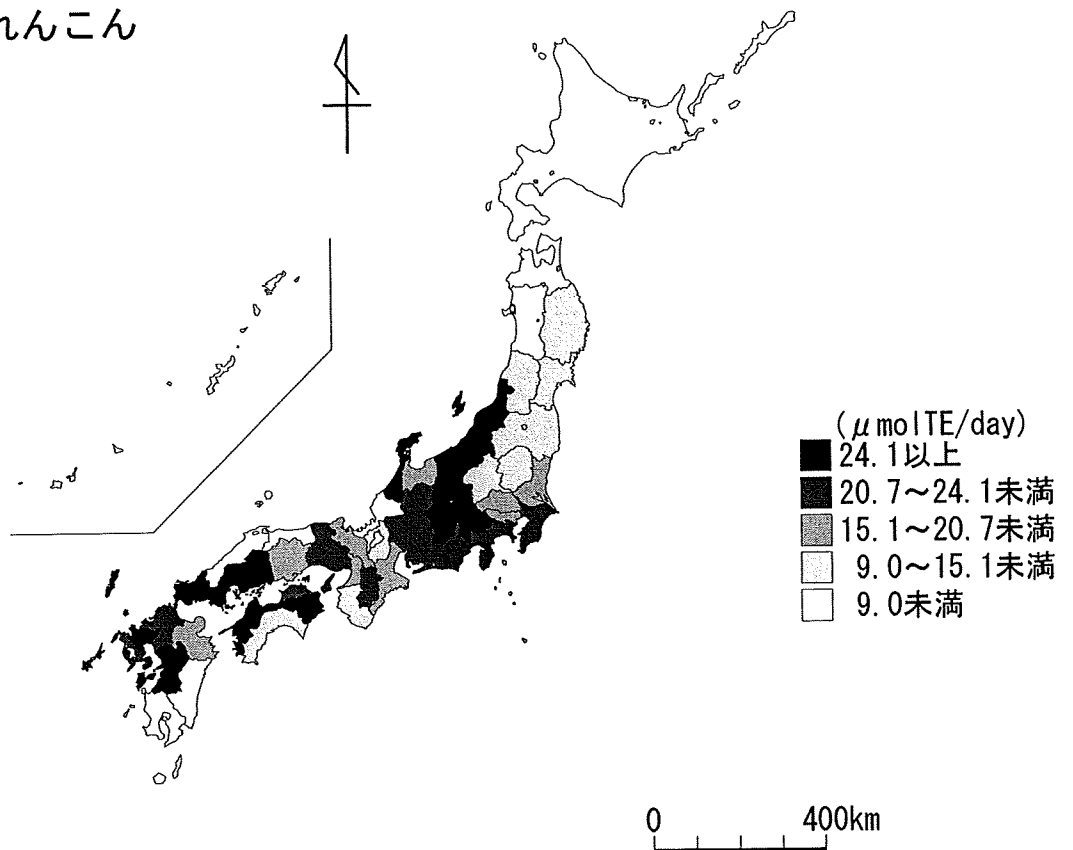
ごぼう



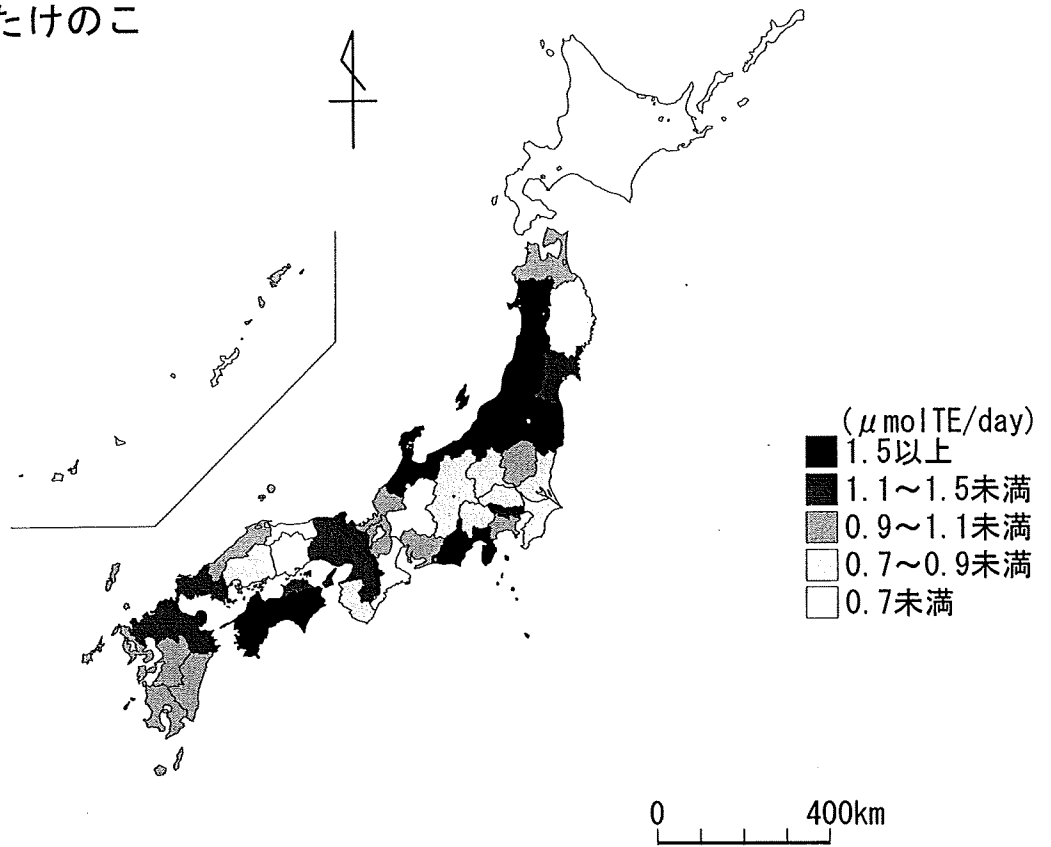
たまねぎ



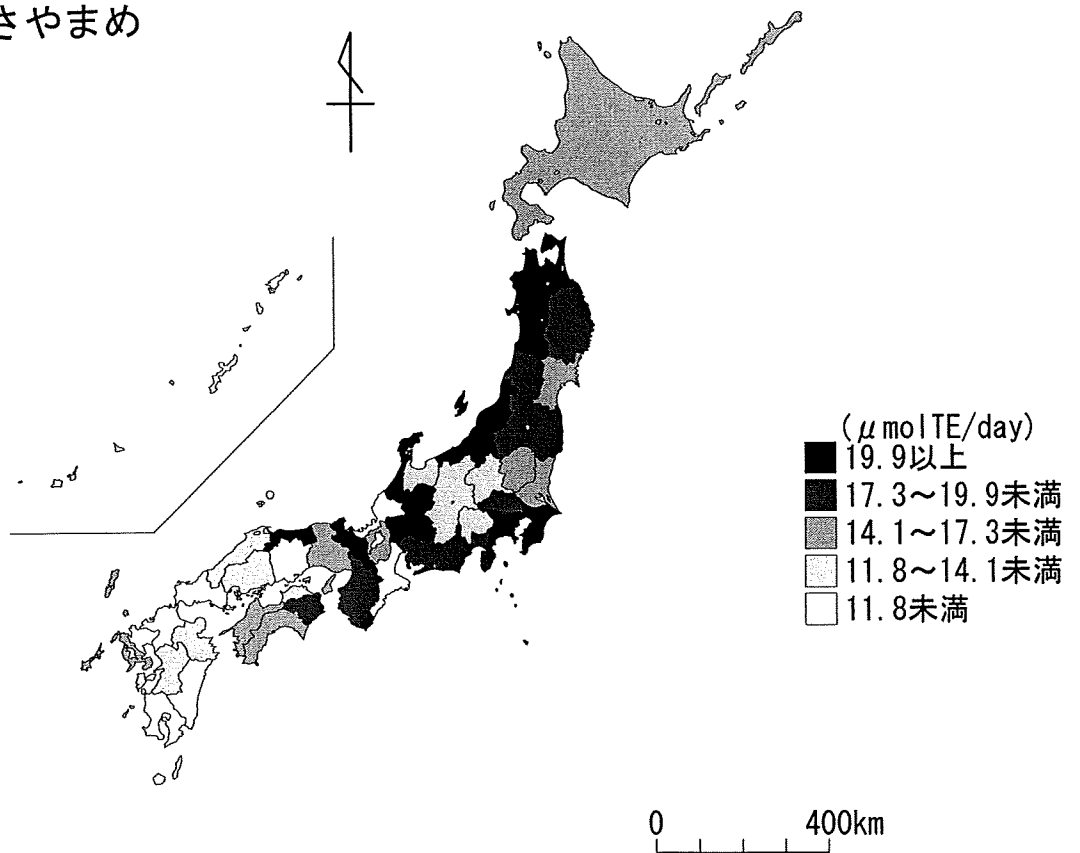
れんこん



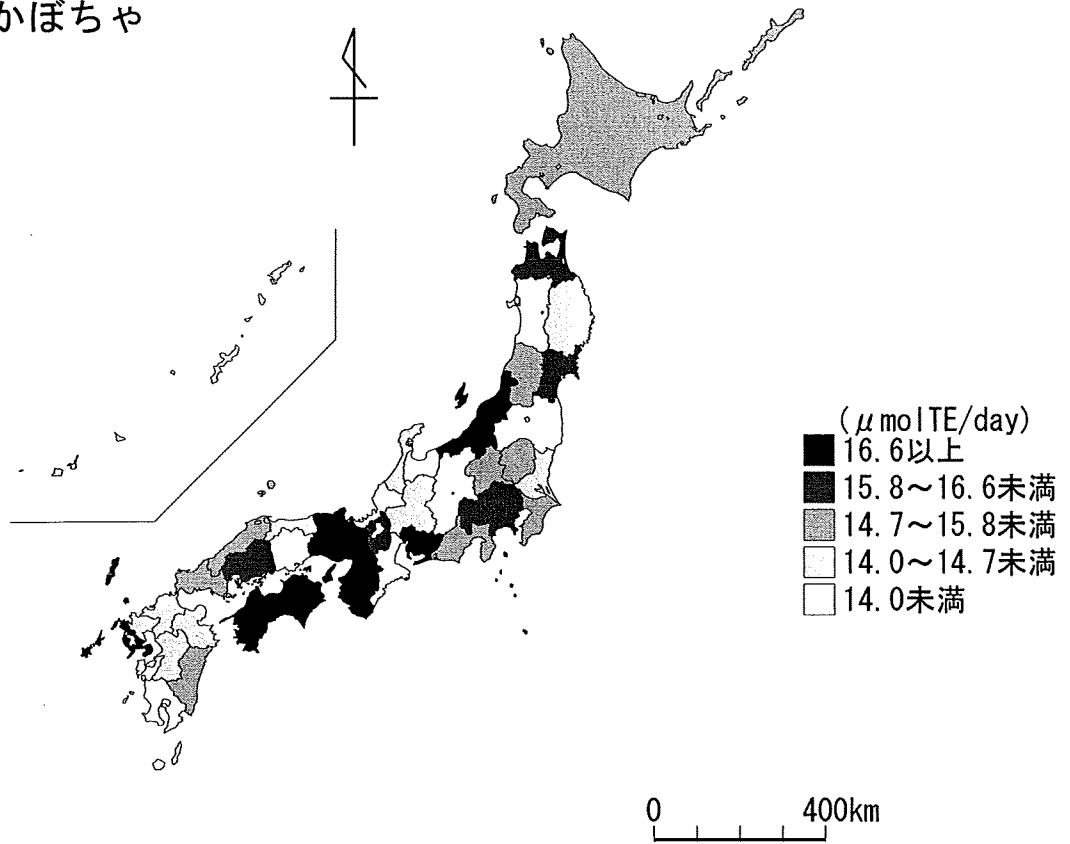
たけのこ



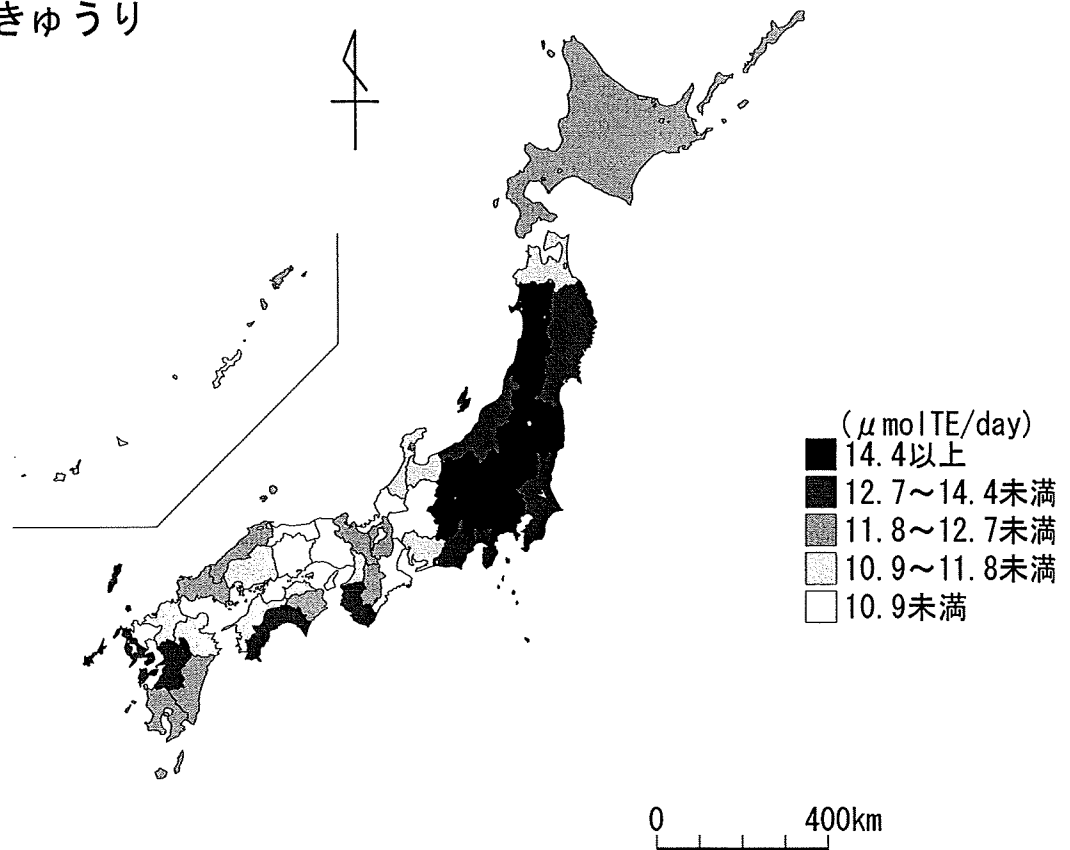
さやまめ



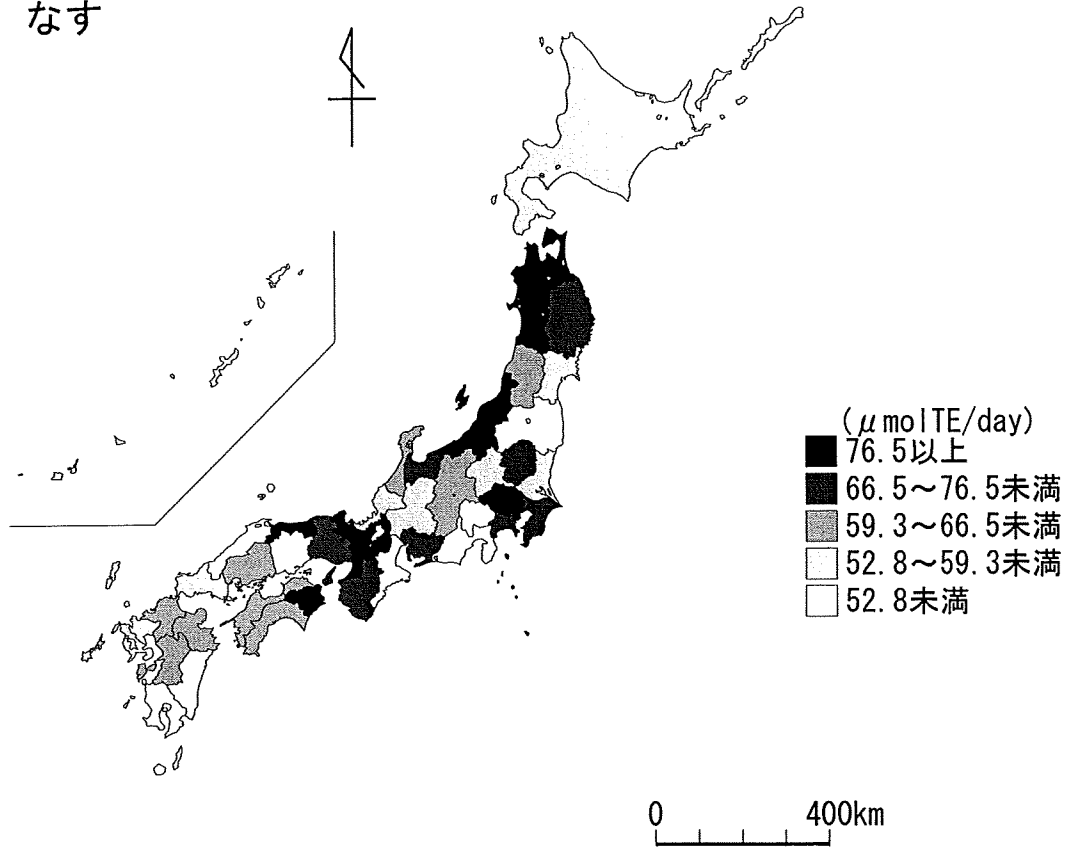
かぼちゃ



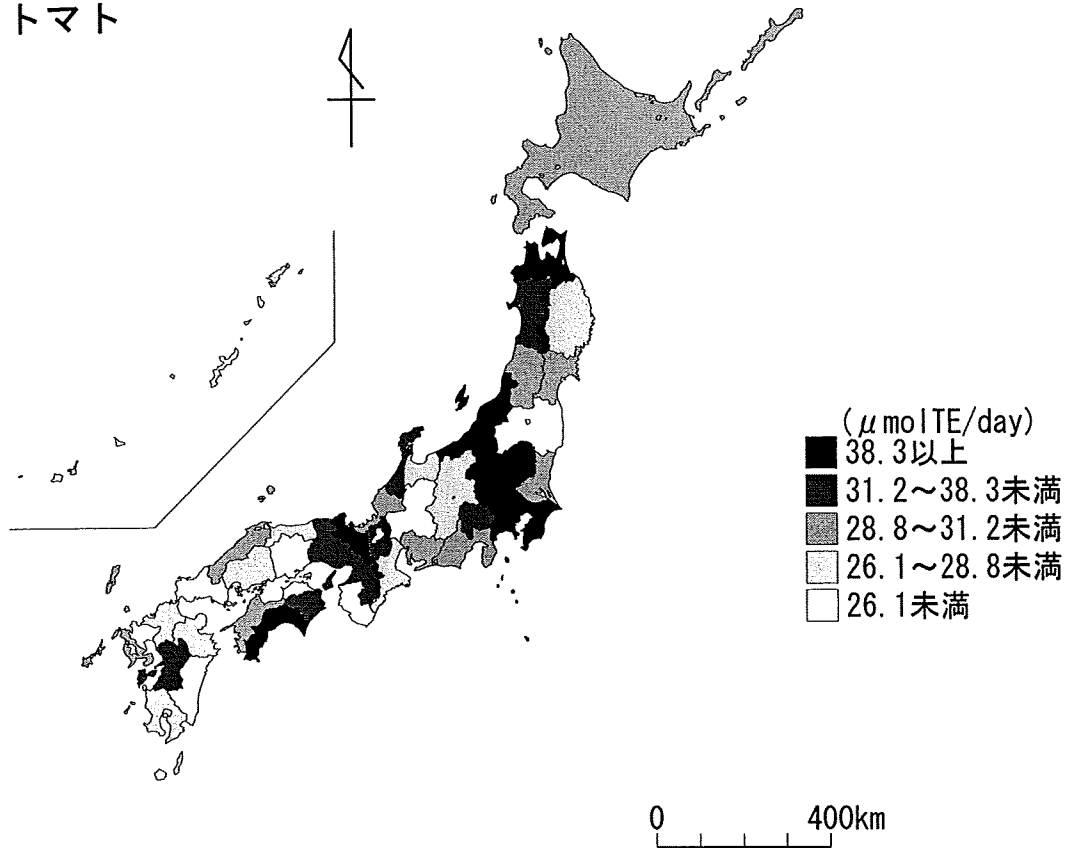
きゅうり



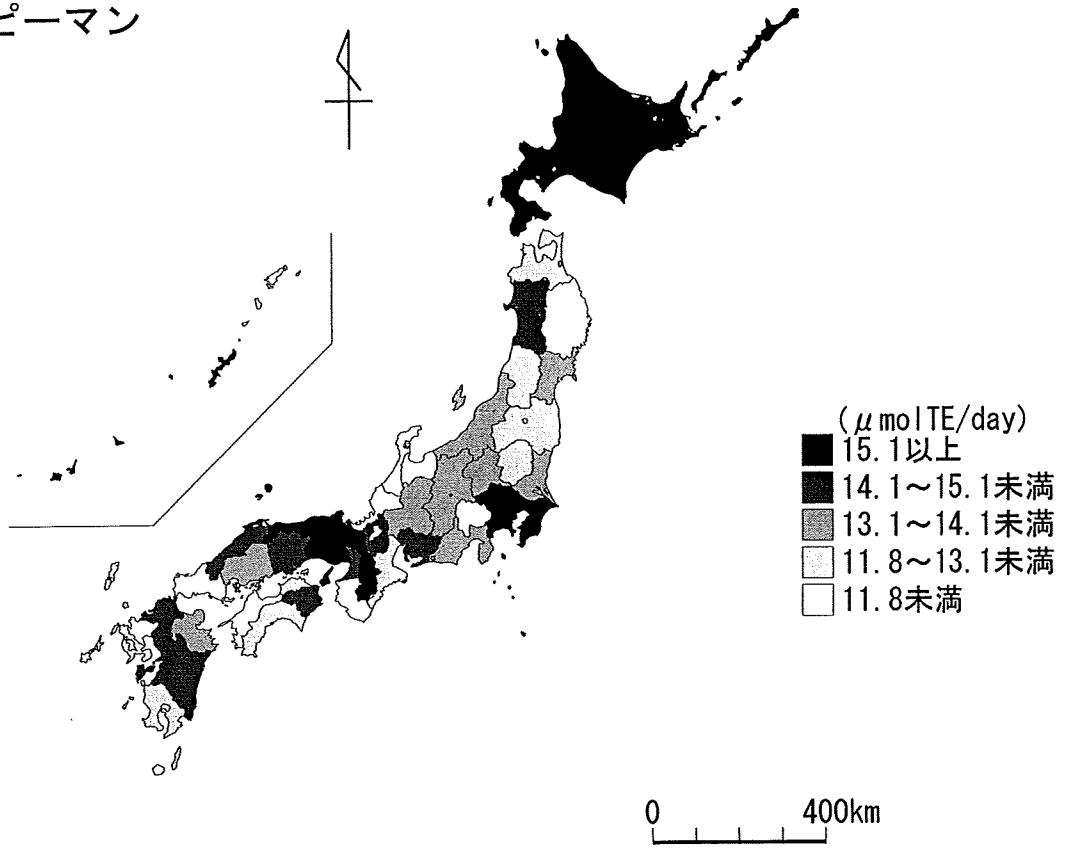
なす



トマト



ピーマン



地方	都道府県	県庁所在地	野菜購入数量 (g/d)	抗酸化力 (μmolTE/day)	都道府県庁所在地における抗酸化力(μmolTE/day)					TOP5 抗酸化力の累計 (μmolTE/day)					
					1	2	3	4	5						
北海道 東北地方	北海道	札幌市	124.2	732.9	113.3	ごぼう	96.6	ばれいしよ	74.7	だいこん	61.5	なす	58.1	404.1	
		青森県	130.3	793.5	115.0	たまねぎ	111.5	なす	85.3	キャベツ	57.9	だいこん	53.2	422.8	
	岩手県	盛岡市	123.4	766.4	126.9	ごぼう	97.2	なす	67.2	だいこん	58.7	キャベツ	49.8	399.9	
		仙台市	118.5	707.9	93.7	たまねぎ	91.7	ばれいしよ	65.5	なす	55.8	だいこん	50.9	357.6	
	宮城県	仙台市	185.2	813.9	105.7	たまねぎ	101.4	なす	94.6	だいこん	68.8	キャベツ	56.4	426.9	
		山形県	118.9	728.7	111.5	たまねぎ	81.3	なす	66.3	キャベツ	50.7	ばれいしよ	50.5	360.4	
	関東地方	埼玉県	浦和市	115.7	673.8	86.7	ごぼう	77.1	ばれいしよ	58.0	だいこん	52.5	なす	48.0	323.2
			水戸市	116.6	699.9	100.2	たまねぎ	96.3	ばれいしよ	59.6	なす	52.8	キャベツ	50.5	359.4
		栃木県	宇都宮市	137.8	806.5	117.1	たまねぎ	90.5	だいこん	71.4	なす	67.1	ばれいしよ	61.1	407.4
			前橋市	129.4	719.0	90.0	ごぼう	82.0	なす	58.2	キャベツ	51.2	ばれいしよ	51.0	332.5
群馬県		さいたま市	134.5	783.8	98.5	ごぼう	80.0	なす	76.5	ばれいしよ	75.0	キャベツ	54.7	384.7	
		千葉市	135.4	790.6	91.7	たまねぎ	86.4	なす	74.6	ばれいしよ	68.8	だいこん	57.1	378.6	
千葉県		千葉市	137.2	803.3	99.2	ごぼう	82.8	なす	77.3	ばれいしよ	75.1	キャベツ	58.2	392.6	
		東京都区部	140.5	824.5	101.0	ごぼう	84.5	なす	76.0	ばれいしよ	72.8	キャベツ	60.1	394.4	
中部地方		神奈川県	横浜市	137.8	844.1	98.2	なす	86.0	ばれいしよ	76.8	ごぼう	75.7	だいこん	53.9	390.5
			新潟県	113.1	697.9	86.0	たまねぎ	74.6	ばれいしよ	74.5	なす	66.5	キャベツ	45.8	347.5
	富山県	富山市	114.4	675.2	77.1	ばれいしよ	66.6	ごぼう	64.5	なす	64.0	だいこん	50.3	322.4	
		金沢市	105.1	629.6	87.5	ごぼう	72.1	ばれいしよ	69.7	なす	54.4	キャベツ	49.4	326.2	
	福井県	福井市	119.4	672.0	82.3	たまねぎ	79.2	キャベツ	53.5	だいこん	52.5	ばれいしよ	49.6	317.0	
		山梨県	114.6	681.1	93.3	ごぼう	84.2	キャベツ	63.5	なす	59.3	だいこん	52.4	352.8	
	長野県	長野市	105.2	651.9	86.1	たまねぎ	73.9	なす	63.5	ばれいしよ	53.2	だいこん	47.7	318.6	
		岐阜県	125.1	714.2	95.1	ばれいしよ	85.8	ごぼう	61.7	キャベツ	59.8	だいこん	52.2	354.6	
	静岡県	静岡市	120.6	719.1	85.0	ごぼう	78.3	なす	70.3	ばれいしよ	67.3	キャベツ	57.7	358.6	
		愛知県	101.2	588.9	84.0	ごぼう	65.3	ばれいしよ	50.7	キャベツ	48.1	なす	43.4	291.5	
近畿地方	三重県	津市	127.9	768.8	101.5	ごぼう	89.4	なす	88.6	ばれいしよ	73.5	だいこん	55.0	407.9	
		滋賀県	134.3	801.0	106.7	ごぼう	91.7	なす	89.2	ばれいしよ	79.8	キャベツ	57.1	424.3	
	京都府	京都市	126.6	753.8	107.1	ごぼう	79.6	なす	77.9	ばれいしよ	76.0	キャベツ	52.8	393.4	
		大阪府	130.6	777.2	104.4	ばれいしよ	86.4	ごぼう	85.7	なす	68.5	だいこん	53.6	393.6	
	兵庫県	神戸市	127.3	749.7	97.4	ごぼう	79.5	ばれいしよ	72.4	なす	71.0	キャベツ	56.7	376.0	
		奈良県	116.3	685.6	87.7	ばれいしよ	74.3	なす	68.0	ごぼう	61.5	キャベツ	49.6	341.0	
	和歌山県	和歌山市	116.6	702.7	85.1	ごぼう	76.9	たまねぎ	76.8	ばれいしよ	64.5	キャベツ	52.3	355.5	
		鳥取県	108.6	635.0	81.0	ごぼう	75.9	ばれいしよ	59.3	なす	49.9	だいこん	45.7	311.9	
	岡山県	岡山市	104.0	644.1	97.0	たまねぎ	88.6	ばれいしよ	67.7	なす	51.9	キャベツ	46.0	351.2	
		広島県	122.1	746.5	105.6	たまねぎ	97.8	ばれいしよ	76.2	なす	59.7	キャベツ	57.7	397.0	
山口県	山口市	107.6	682.0	100.3	たまねぎ	80.0	ばれいしよ	63.7	なす	57.8	キャベツ	48.4	350.2		
	徳島県	132.3	781.7	97.3	なす	80.4	ごぼう	72.5	ばれいしよ	70.3	キャベツ	55.5	376.2		
香川県	高松市	115.9	711.4	103.8	たまねぎ	83.7	ばれいしよ	68.4	なす	63.5	キャベツ	52.2	371.6		
	愛媛県	110.0	694.8	108.2	たまねぎ	82.0	ばれいしよ	63.8	なす	60.2	キャベツ	44.3	358.5		
九州地方	福岡県	福岡市	114.4	681.1	82.4	ごぼう	78.4	なす	66.4	ばれいしよ	65.5	キャベツ	49.6	342.2	
		佐賀県	105.3	685.8	102.0	たまねぎ	94.9	ばれいしよ	67.1	なす	61.3	キャベツ	52.9	378.2	
熊本県	熊本市	118.5	790.1	118.2	たまねぎ	87.0	ばれいしよ	64.1	なす	55.0	キャベツ	50.5	374.9		
	鹿児島県	118.3	729.9	106.6	ごぼう	102.9	ばれいしよ	80.3	なす	57.7	キャベツ	49.9	397.3		
沖縄県	那覇市	113.3	711.4	104.3	たまねぎ	98.2	ばれいしよ	64.7	なす	59.6	キャベツ	50.1	376.8		
	沖縄県	107.4	616.2	118.1	たまねぎ	103.5	ばれいしよ	65.7	なす	59.7	キャベツ	48.1	395.2		
沖縄県	那覇市	119.0	691.1	99.4	ごぼう	69.9	ばれいしよ	62.9	なす	46.4	キャベツ	45.4	322.1		
	沖縄県	96.1	553.9	94.3	ごぼう	90.2	ばれいしよ	68.6	キャベツ	62.5	なす	47.0	367.6		
沖縄県	那覇市	96.1	553.9	94.3	ごぼう	62.9	にんじん	59.0	ばれいしよ	56.6	だいこん	42.1	314.9		

*資料提供における野菜購入数量は平均20年平均値を利用